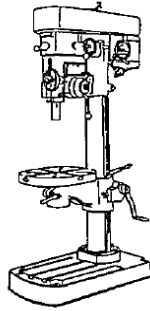
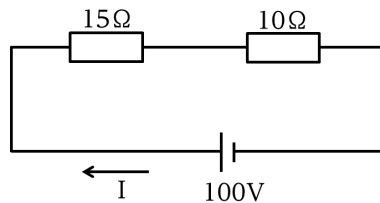


- 1 旋盤とは、工作物を主軸に取り付け、工作物を回転させながら加工を行う工作機械である。
- 2 下図に示す工作機械は、フライス盤である。



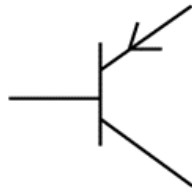
- 3 下図に示す回路に流れる電流 $I$ は、 $0.25\text{A}$ である。



- 4 消費電力 $100\text{W}$ の電熱器を1時間使用したときの電力量は、 $360\text{kJ}$ である。
- 5 事後保全は、計画的に設備を停止して、分解・点検・整備をする保全方式である。
- 6 予防保全には、劣化を防ぐ活動、劣化を測定する活動、劣化を回復する活動の3つがある。
- 7 故障メカニズムとは、断線、折損など故障にいたる過程のことである。
- 8 設備履歴簿には、設備の故障の内容や、修理に要した費用などの記録を残す。
- 9 パレート図は、設備故障の低減活動の優先付けをするときなどに用いられる。
- 10 特性要因図とは、特性(結果)に対して、その要因を体系付けられるように図で表現したものである。
- 11 S20Cの炭素含有量は、約 $0.2\%$ である。
- 12 金属の熱処理は、加熱温度や冷却速度などを調節することにより、性質を改良する加工方法である。
- 13 労働災害とは、火災や地震など、設備の損傷原因となる災害のことである。

- 14 5Sにおける整頓とは、必要なものを必要なときにすぐに使用できるように、決められた場所に準備しておくことである。
- 15 ボール盤作業では、必ず手袋を装着する。

- 16 サーボモータに適した制御は、オープンループ方式である。
- 17 インバータは、直流を交流に変換することができる。
- 18 コンデンサの合成静電容量を大きくするには、コンデンサを並列に接続する。
- 19 フィードフォワード制御とは、目標値、外乱などの情報に基づいて、操作量を決定する制御方式である。
- 20 ファラデーの電磁誘導の法則によると、コイルの巻数を多くすると起電力は小さくなる。
- 21 原子核は、電子全体と同じ量の負の電気量をもつ。
- 22 1Vの電圧で1Aの電流が流れたとき電力は、1Wである。
- 23 入力をA、Bとした場合、論理回路における「OR」は、「A+B」である。
- 24 一般的にコンデンサの静電容量は、オシロスコープで測定する。
- 25 高調波とは、基本波の整数倍の周波数をもつ正弦波である。
- 26 短絡とは、2つの相、または3つの相の線間が負荷を通さずに接触した状態である。
- 27 抵抗器のカラーコードは、抵抗値や許容差などを表す。
- 28 塩化ビニル樹脂は、絶縁材料である。
- 29 日本産業規格において、下図は、NPN型トランジスタの電気用図記号である。



- 30 日本産業規格において、下図は、「電力計」の電気用図記号である。

